

# 民主化闘争情報

No. 925

2015年3月25日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

強固な経営体力を有するJR東日本では、回答指定日を迎える中で妥結に至らない異常事態となっている。

意欲ある社員の育成を目指し、「所定昇給額」をベースアップの算出根拠とする会社側に対し、JR総連・JR東労組は「成果主義への転換に他ならない」、「ベースアップ破壊を許さない」と危機感をあらわにしている模様だ。

## 意欲ある社員の育成を目指すJR東日本！？ 危機感あらわのJR東労組！？

2015春闘は、JR東海ユニオンがベア2千円、JR西労組がベア千円など昨年を上回る額で妥結している。自動車や電機など民間大手も今月18日に集中回答がなされている。一方、強固な経営体力を有し、経団連に副会長を送り出すなど名実ともに一流企業であるJR東日本では、未だに妥結に至っていない。情報によれば、「交渉は25日まで中断！会社の狙いは、組合員に競争意識を芽生えさせ、会社に物言えぬ職場を創り出すこと」などと、JR東労組は危機感をあらわにしているようだ。

賃金格差を許さず、年功賃金を維持した公平な賃金引き上げを求め全組合員でたたかおう！

(中略) 団体交渉は継続中ですが、回答指定日を迎える中で未だ妥結に至らない異常事態となっています。(中略) 「所定昇給額」をベースアップの算出基礎とすることは、(中略) 人事・賃金制度の本来の趣旨を大きく逸脱する「成果主義への転換」に他ならず、なし崩し的な「能力給」の導入に他なりません。(中略) 「成果主義への転換」は、鉄道業にとって一番重要な安全文化の崩壊に結びつき、仲間、乗客の命、将来の職場、ひいてはJR東日本が危機に瀕してしまう危険性をはらんでいます。(中略)

東日本旅客鉄道労働組合 中央執行委員会

### JR東日本とJR東労組に大きな亀裂！

#### 横浜運輸区（仮称）の工事中止を求めて対立！？

一方、京浜東北・根岸線及び横浜線の乗務員基地再編成においては、JR東労組は横浜運輸区（仮称）の工事中止を求める緊急の申し入れを行った。労使の合意形成が図られていないと主張する。2月13日に開催されたJR東労組の第41回定期中央委員会でJR東労組・柳書記長は総括答弁の中で「施策と検証運動に立ち向かい、向こう1年半JR東労組は武装解除することなく、いつでもストライキでたたかえる組織をつくり出し奮闘する」と述べている。

JR東労組とJR東日本が締結している「21世紀労使共同宣言」において、「JR東日本とJR東労組とは、労使相協力する健全な労使関係へと自己改革を図ってきた」「平和裡かつ自主的に労使間の真摯かつ率直な話し合いにおいて自主解決を図る」としている。もはや有名無実化した「21世紀労使共同宣言」を破棄すべきではなかろうか！